

内水試 News!

H21. 8. 10

かわら版 Contents

霞ヶ浦北浦でアオコ(ミクロキスティス *Microcystis* sp.)発生



写真1：船溜まりにおけるアオコの集積。
(平成21年8月5日、8：30)



写真2：船の航行後に浮上したアオコ。
(平成21年8月5日、8：41)

8月5日に、霞ヶ浦北浦において8月の定期湖沼観測を実施しましたが、その際出港時に、内水面水産試験場周辺域でアオコが大量に発生しているのが確認されました(写真1・2参照)。

この日は、前日の強風から一変して、ベタ凧でしたので、水塊全体に拡散したアオコが早朝に浮上・集積したものと思われます。

顕微鏡で種類を調べたところ、ミクロキスティスの1種(*Microcystis* sp.)であることが判明しました。このような大量発生は近年見られなかったため、現在、大量発生の原因を調べているところです。

元来アオコなどの藍藻類は、約20億年前から繁殖を始め、その為、地球上の酸素はこれら藍藻類によって作り出されたと言われています。今日では、湖沼・河川などの水域をはじめ、湿地などにも生育しています。

このように、アオコは水域環境の一部であり、あらゆる場所に生息することが自然な状態なのですが、異常な繁殖は自然のバランスを崩していることを意味し、水域に悪影響を及ぼすことが多くなるので、注意深く観察していきたいと考えています。